



# 北農タイムス

令和8年度  
4・5月号

長崎県立北松農業高校  
発行責任者 校長 内川昌彦  
〒859-4824  
平戸市田平町小手田免 54-1  
電話 0950-57-0511

令和8年度 学校スローガン 「一瞬懸命」  
いっしゅんけんめい

～目の前の一瞬一瞬に全力で向き合い、取り組んでいこう～

## みなさま本年度もよろしくお願ひ申し上げます!

今年度の学校スローガンは「一瞬懸命」。農業クラブ(※1)のメンバーが考えました。目の前の一瞬一瞬に全力で向き合い取り組んでいこうとの意味が込められています。このスローガンを生徒・教職員一同、心におきながら取り組んで参ります。地域の皆様には今年度もお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。また、このたびの人事異動で教頭をはじめ6名の教職員が新たに着任しました。



新戦力を加え今年度は教職員総勢57名で教育活動を展開して参ります。

## 第78回入学式を挙行

～実習生産品販売会やミニ動物園も～

4月8日、保護者ならびに地域や関係機関の皆様のご列席の下、入学式を挙行しました。緊張の入学式と、教室での初めてのホームルーム活動の後は実習生産品の販売やミニ動物園、本校の公式キャラクター「ほくのん(※2)」との記念撮影コーナーなどで楽しいひと時も過ごしてもらいました。入学生73名を迎え、全校生徒は204名になりました。



北農での生活に早く慣れて、夢や目標をつかみ取ってほしいと思います。地域の皆様にも引き続き北農生を温かく見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

- ※1 農業クラブ：農業高校での研究活動や技術習得を目指す組織。生徒会活動も兼ねる。全国の農業関係高校の生徒約8万人が加盟。FFJとも呼ばれる。
- ※2 ほくのん：北松農業高校の公式キャラクター。学校行事の時などに駆けつけてくれる。



## 最近の北農トピック紹介!



HOKUNOU.KOUSHIKI.INSTA  
Instagram

### ○オランダ交流事業報告会 <2月26日>

本校の生徒2名が平戸市のオランダ交流事業に参加し、1月に10日間の日程でノールトワイク市を訪問しました。オランダの高校生宅にホームステイしながら学校訪問や市民の皆さんと交流を通じて異文化を体験し、国際的な視野を広げることができたようです。

本年度も交流事業が実施されるとのことですので、希望する生徒を積極的に派遣したいと考えています。



### ○校内各種発表会 <3月18日>



3月に校内各種発表会を実施しました。意見発表に15人、プロジェクト発表に9チームが参加し、日頃の学習の成果を発表しました。受賞者は次のとおり

<プロジェクト発表>

- 最優秀「文旦 紅まどかを利用した新商品開発への取り組み」八木原理央・高尾美心
- 優秀賞「絶滅危惧植物の繁殖と保護活動～幻の安満岳寒蘭の復活大作戦～」古川将道・町田颯助
- 優秀賞「ブドウ栽培の改善と新たな取り組み」池田幸之介
- 優秀賞「高校生の甘酒大作戦」大山莉桜・山口玲桜

<意見発表>

- 最優秀「空き家問題から考える平戸の地域資源」久家佑奈
- 優秀賞「平戸の夢」平山好夢
- 優秀賞「農業を未来に次ぐために」尾崎慎太郎
- 優秀賞「1粒に込められた努力を未来につなぐ」上尾莉愛
- 印は6月に西海市で行われる県大会に出場します。



### ○潜龍酒造蔵開きで販売実習 <4月4日>

佐世保市江迎町にある潜龍酒造株式会社で行われた「蔵開き～春の陣～」にて本校食品流通科の生徒が実習で生産したマーマレードや鳥みそ、パウンドケーキ、シフォンケーキなどを販売しました。販売実習でお客様との接し方を学び、商品の説明をすることで、学習してきた内容を確認することもできます。今後も様々な機会に販売実習へ出かけたと思います。



# 新聞記事で見る北農

昨年度の後半に長崎新聞紙上で取り上げていただいた記事です。

令和7年9月28日

## 全力で1勝でも多く

国スポ相携少年男子 平戸市役所で抱負

松口さん(18)が25日、平戸市役所で松田隆也副市長らに抱負を述べた。

松口さんは身長173センチ、体重98キロ。市立紐差小2年の時、同市出身の平戸海関が所属していた「紐差相撲クラブ」に入門し、稽古に励むようになった。本年度は北松農高相撲部に入部し、30日に開く第79回国民スポーツ大会相撲競技少年男子に出場する。県立北松農高3年の松口幸弘さん(18)が25日、平戸市役所で松田隆也副市長らに抱負を述べた。

内川昌彦校長らを訪れた松口さんは松田副市長らに抱負を述べた。抱負は「1勝でも多く勝ちたい」と抱負。松田副市長は「けがに注意して、練習の成果を遺憾なく発揮してほしい」と激励した。(柿野朋之)

令和7年9月30日

## 北松農V

九州高校軟式野球大会

第66回九州地区高校軟式野球大会は4日、諫早市のたちばなしんきんFODで決勝が行われ、北松農が長崎玉成・五島南に21-10で快勝した。北松農は26、29日に宮崎市で行われる九州大会に出場する。(城谷裕子)

▽決勝  
長崎玉成・五島南 0000000000  
北松農 10200413001X 210

▽長崎  
北松農 10200413001X 210

▽佐賀  
北松農 10200413001X 210

▽大分  
北松農 10200413001X 210

▽福岡  
北松農 10200413001X 210

▽熊本  
北松農 10200413001X 210

▽鹿児島  
北松農 10200413001X 210

▽沖縄  
北松農 10200413001X 210

令和7年9月30日

## 少年2年ぶり予選突破

「長崎の力」存分に

相撲

少年相撲部は18日、長崎市の長崎市立中央体育館で、長崎県立中央体育館で開催された「長崎の力」存分にというテーマで、長崎県立中央体育館で開催された少年相撲大会に出場し、2年ぶりに予選を突破した。大会は長崎県立中央体育館で開催され、長崎県立中央体育館で開催された。大会は長崎県立中央体育館で開催され、長崎県立中央体育館で開催された。

長崎県立中央体育館で開催された少年相撲大会に出場し、2年ぶりに予選を突破した。大会は長崎県立中央体育館で開催され、長崎県立中央体育館で開催された。

長崎県立中央体育館で開催された少年相撲大会に出場し、2年ぶりに予選を突破した。大会は長崎県立中央体育館で開催され、長崎県立中央体育館で開催された。

令和7年12月5日

## 内村さん 努力の大切さ語る

北松農高創立80周年で講演

体操男子個人総合で五輪2連覇を果たした内村航平さん(18)が、平戸市田平町の県立北松農高(内川昌彦校長、188人)の創立80周年記念式典で講演し、生徒たちに努力することの大切さを語った。式典は同校で11月15日に開催。「目標達成に大切なこと」のテーマで講演した内村さんは、体操を始めてから引退するまでの自身の経験を振り返り、「幼い頃から才能に恵まれていたわけではなく、練習を重ねることによって世界一になった」と語った。また、「東京で暮らすことで、県民の温かい人柄や自然豊かな環境の良さに誇りを感じられるようになった」と語り、努力の大切さを語った。

内村さんは、体操を始めてから引退するまでの自身の経験を振り返り、「幼い頃から才能に恵まれていたわけではなく、練習を重ねることによって世界一になった」と語った。また、「東京で暮らすことで、県民の温かい人柄や自然豊かな環境の良さに誇りを感じられるようになった」と語り、努力の大切さを語った。

令和8年1月25日

## 北松農高生 チーズ作り挑戦!

佐世保の酪農家招きセミナー

平戸市田平町の県立北松農高(内川昌彦校長、188人)で酪農家を招いたセミナーがあり、生徒が乳牛や乳製品などについて学んだり、チーズ作り挑戦したりした。産業界の専門家から知識や技術を学び、職業選択の幅を広げる同校の「産業エキスパートセミナー」の一環。13日、講師に佐世保市里美町で「さとむら牧場」を営む里村貴司さん、睦弓さん夫妻を招き、生活科1年の女子22人が受講した。牛の体内や酪農のサイクルなどを描いた紙芝居のほか、乳製品を作る工程や牧場の仕事について講義。モッツアレラチーズを作る実習では、生徒が「カード」と呼ばれる牛乳を凝固させた物を湯の中で練り、こぶし大にちぎって完成させた。生徒は出来たてのチーズをそのまま食べたり、手作りのピザにトッピングしたりして味わった。村井心美さん(16)は「牧場の仕事の大変さや牛の命の尊さが分かった」、山野琉菜さん(15)は「モッツアレラチーズを食べたのは初めて。もちもちと弾力がありおいしかった」とそれぞれ話した。(柿野朋之)



令和8年2月12日

## 北松農高から初の角界入り

市長に抱負「横綱目指したい」

佐世保出身 中里 昌暉さん(18)

佐世保市出身で県立北松農高(平戸市田平町)3年の中里昌暉さん(18)がこの春、大相撲の世界に飛び込む。同校によると、同校からの角界入りは初めて。中里さんは5日に佐世保市役所を訪れて宮島大市長に角界入りを報告。「家族や先生など支えてくれた人に感謝しながら、横綱を目指したい」と抱負を語った。

市長に抱負「横綱目指したい」

中里さんは身長184センチ、体重146キロ。押し相撲が得意で、とんとん前に出て、押し込んでいくタイプ。高校に入学してから相撲を始め、2、3年時に高校体の九州大会に出場するなど活躍した。角界入りは自分で決め、のびのびと成長できる環境があると思い、立派な門をたたいた。しご名は「照豊」。春場所から序の口でデビューする。宮島市長は「県北出身の平戸海関のような先輩に続き、素晴らしい力士になることを期待する」と激励した。

9日には、第2回春の軟式交流試合 in 甲子園(5月4日、兵庫県西宮市)に出場する同校2年軟式野球部の大石諒太さん(17)が、佐世保市出身の平戸市市長(松尾市長)を訪問。大石さんは全国から選抜された代表が東西に分かれて対戦する大会に、「全国レベルの選手たちと一緒に試合ができるのが楽しみです。しっかり頑張りたい」と意気込みを語った。松尾市長は「本県や平戸市に希望を与えてくれるような活躍を期待している」とエールを送った。(梅原凱斗、柿野朋之)

令和8年3月13日

## 社会のルール 寸劇から学ぶ

北松農高 進路ガイダンス

平戸市田平町の県立北松農高(内川昌彦校長、188人)で5日、1、2年を対象とした進路ガイダンスがあった。ガイダンスでは、企業のコミカルな演技で伝えた。ガイダンスでは、企業のコミカルな演技で伝えた。ガイダンスでは、企業のコミカルな演技で伝えた。

ガイダンスでは、企業のコミカルな演技で伝えた。ガイダンスでは、企業のコミカルな演技で伝えた。ガイダンスでは、企業のコミカルな演技で伝えた。

ホームページやインスタグラムでも情報を随時更新中です。ぜひご覧ください! →



ホームページ



インスタグラム